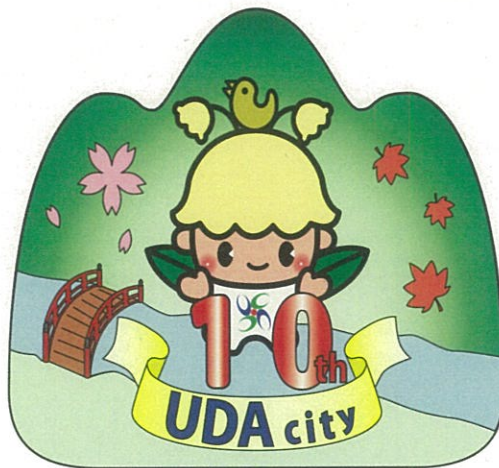


平成27年度

宇陀市まちづくり活動応援補助金

成果報告書



★★ 宇陀市誕生10周年

— **かがやけ 宇陀市** —  
～未来に向かって～

宇陀市企画財政部まちづくり支援課

平成28年6月



## 「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要

この補助金は、市民が主役のまちづくり並びに地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的として、市内で活動する市民団体が自ら企画立案し、実施する事業に要する経費を補助することにより、市民活動の促進を図ろうとするものです。

補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関（宇陀市まちづくり活動応援補助金審査委員会）による厳正な審査を経て決定します。

## 補助金の額

補助金の額は、補助の対象となる経費の総額から当該事業の実施によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円を上限とします。事業が継続して必要と認められる場合は、自立・発展性の観点から2年目は40万円を上限とし、3年目は30万円を上限とします。ただし、算出した額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとします。

## 審査・評価の方法

### ①一次審査（書類審査）

補助金の対象事業として要件を満たしているか等の審査を行います。

### ②二次審査（公開プレゼンテーション）

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。

新規性	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業内容に新しい発想、アイデアがあるか。</li><li>・自主性をもった企画・運営となっているか。</li></ul>
公益性	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活動支援の目的と合致しているか。</li><li>・事業の成果が広く地域に還元されるものか。</li><li>・事業参加の機会が広く住民に与えられているか。</li><li>・市の施策と方向性が合致しているか。</li><li>・応募者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。</li></ul>
必要性	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の実情や住民要望に対応したものか。</li><li>・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効なものであるか。</li><li>・ほかの方法で代替できないものであるか。</li><li>・経費の使途が適切なものか。</li></ul>
実現性	<ul style="list-style-type: none"><li>・目標（達成すべきこと）が明確なものか。</li><li>・関係者との合意形成や応募団体等の内部での実施態勢が整っているか。</li><li>・資金調達の規模や時期に無理はないか。</li></ul>
発展性	<ul style="list-style-type: none"><li>・市の支援が終了した後の継続性や自立性、発展性は期待できるか。</li></ul>

## 審査委員

氏名	所属・職
反田 博俊	奈良NPOセンター 理事長
仲浦 美好	宇陀市食生活改善推進協議会 会長
辻 由加里	公募委員
東 秀好	奈良県くらし創造部協働推進課 課長
中野 理	宇陀市副市長

※審査委員会当日（H27.3.22）現在

**補助事業の実施内容**

1. 公園及び周辺の樹木の剪定・草刈・清掃を実施
2. 隣接道路の草刈清掃を実施
3. 菜園・花壇に堆肥を搬入し耕耘・整地・区画整理を行う
4. 利用スタッフ募集案内と整備スタッフ会議を開催
5. ビオラ・チューリップ・スイセンを植栽する
6. ビオトープの整備(近隣住民から石・レンガの提供を受け再利用し整備)  
メダカも譲り受け放流

**【事業実施の様子】**



**補助事業の成果と今後の活動に向けて**

- ・周辺環境が改善され、花壇の整備ではきれいになったと喜ばれました。
- ・西3丁目以外の方も利用スタッフに参加いただき、少しずつだが地域コミュニティが活性化してきました。
- ・ご自宅で不要となったレンガ・石等を譲り受け、公園の花壇やビオトープで再利用。この引き取りが意外と好評で、次年度以降も引き取り、リユースさせていただく予定です。
- ・次年度は子どもが参加しやすいイベントを開催予定です。

事業実施団体

名称	天満台西3丁目自治会
所在地	宇陀市榛原天満台西3丁目6-8
設立の経緯・目的	本会会員相互の親睦と調和を図り、居住者協力のもとに地域の健全な発展に寄与することを目的として設立。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 居住者の良好な生活環境の維持向上に関する事</li> <li>2. 居住者の防災・防犯に関する事</li> <li>3. 天満台合同自治会、東榛原連合自治会、宇陀市連合自治会及び東榛原まちづくり協議会と連携し、地域の健全な発展及び親睦を図ること</li> <li>4. 会員相互扶助に関する事</li> <li>5. 会報、その他刊行物の発行</li> <li>6. 防犯灯の維持管理</li> <li>7. その他、目的達成に必要な事項</li> </ol>

平和の杜をつくる会

補助事業の実施内容

年間参加者 のべ350人

1. 雑木伐採、草刈作業 年間5回以上
2. ツツジ30本、サツキ20本、ツツジ苗木300本・ツツジ250本、しだれ桜20本の植樹
3. ベンチ2台設置
4. 平和教育 講師: 檜原市遺族会会長および室生遺族会の代表、元宇陀市遺族会長
5. 遊歩道設置(78m)
6. 鳥獣害対策(しだれ桜20本分)
7. 打合せ会議 毎月1回

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・長年放置してきた雑木を処分した結果、景観が良くなりました。
- ・遊歩道の設置をし、ツツジ苗木580本、しだれ桜の苗木20本、サツキの苗木20本の植樹をした結果、数年後この場所がツツジや桜の名所となり、また平和公園となることを祈り、開花を期待しています。
- ・室生小学校の4～6年生を対象に3回の平和教育を行い、戦争や戦没者について考え、後世に伝える学習をしました。
- ・この事業と並行して遺族会では、独自で戦没者顕彰碑の建立を行っていく予定です。

事業実施団体

名称	平和の杜をつくる会
所在地	宇陀市室生大野2240番地
設立の経緯・目的	この場所を今まで以上に整備し、今に生きる私たちが平和の杜として後世に伝え、歴史公園として、また憩いの場として保存していくことを目的として設立。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 雑木の伐採</li> <li>2. 草刈清掃</li> <li>3. 平和教育の実施</li> <li>4. 広場の整備</li> <li>5. 顕彰碑の整備</li> <li>6. その他、目的達成に必要な事項</li> </ol>

# ふる里共存事業『たぐちきっちん』

補助金額  
500,000円

たぐちき

## 補助事業の実施内容

5月～12月までの総来客数 1505人

1. 火曜・土曜の週2回営業(たぐちきっちん)
2. 帝塚山大学文化創造学科(51名)と元気村の講師を交え、地場産食材を使った交流会開催
3. 老人ホームのデイサービス利用の方を対象にお茶会開催(3回)
4. イベント開催(きっちんマルシェ・新米とそうざいバイキング・クリスマス限定ランチ等)
5. イベント参加(室生里めぐり・ゆうゆう祭・元気村秋じまい祭等)
6. 看板修復作業・会議・清掃作業等

### 【事業実施の様子】



## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・農産物直売所を設けた事で、地域の生産者の方々に作りがい・やりがいを感じてもらう事ができた。また、『たぐちきっちん』で調理し提供することで、地元野菜のアピールに貢献できました。
- ・地域の方達が気軽に集える場ができたことと喜んでいただき、地域内外の交流も深めることができました。
- ・地域の各団体の要望に応え、食事を提供したことにより、遠方への食材の買い出しや、調理する負担がなくなったと喜んでいただきました。
- ・28年度より自主運営になり、事業を継続していくための課題もありますが、応援してくれる声を励みに「ふるさと元気村」の関係者や地元の方々の協力を得ながら持続していきたいです。
- ・私たちのささやかな活動で、少しでも地域活性化に貢献できるよう今後も努めていきたいです。

### 事業実施団体

名称	たぐちき
所在地	宇陀市室生下田口1112番地
設立の経緯・目的	過疎と高齢化が進む田口地区で若い世代(女性6名うち子育て世代5名)が中心となり、不便を感じるこの田舎で繋がりを持ち、支え合っ生活できる環境づくりを目的とし、子どもたちが大人になったときに「ふる里」と胸を張って呼んでもらえる村を残してあげたいと設立しました。
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 交流の場づくり事業</li> <li>2. 共食事業(軽食・喫茶)</li> <li>3. 都市との交流(帝塚山大学・名張市等)</li> <li>4. 直売所の開設</li> <li>5. 加工品・特産品の販売・開発事業</li> <li>6. 食のイベントの開催</li> </ol>

# 三本松地域活性化 町並み歴史散策マップ

補助金額  
400,000円

三本松まちづくり協議会

## 補助事業の実施内容

1. 役員会(事業概要・マップ原案協議・内容協議・最終精査・発注・標識設置場所決定)
2. マップ・標識の視察(明日香村等)
3. 標識設置場所の調査・下見
4. マップ2万部作成
5. 標識設置(7カ所)

## 【事業実施の様子】



## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

・完成した歴史散策マップを通して、多くの方々に三本松地域を知っていただくと共に、住民の交流の場として地域の連帯や郷土愛、次世代に伝統等を伝承することで高齢者の生きがいをづくりを望め、また、観光資源にもスポットをあて幅広く誘客を促進できます。

・継続事業として、観光歴史総合案内板の設置、標識の増設、散策マップを活用した歴史散策ウォークの開催、さらに散策マップを増刷した広報活動を図っていきたいと考えています。

## 事業実施団体

名称	三本松まちづくり協議会
所在地	宇陀市室生三本松2091番地
設立の経緯・目的	身近にある三本松の歴史・文化・地名由来等を次世代に伝承していくため、多くの方々に来訪を促し、旧伊勢街道(宿場町)を散策して、神社・寺・旧跡等により歴史を体感し、「花の郷滝谷花しょうぶ園」や道の駅「宇陀路室生」、農産物直売所「こもれび市場」の賑わいにも立ち寄っていただけるよう、散策マップを作成するため、まちづくり協議会の地域振興部会を中心に取り組みました。
主な活動内容	防災、防犯、交通安全、福祉、健康づくり、環境美化、環境保全、住環境整備、歴史、文化、伝統継承等、人権教育及び人権啓発の推進、産業振興等、地区住民の交流又は連帯、地区の団体育成、地域計画の策定、その他地域づくりに関する事業

# 伊勢街道をテーマとした地域間連携事業【継続2年目】

補助金額  
400,000円

紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会

## 補助事業の実施内容

1. ノルディックウォーク体験会(参加者15名)・伊勢街道交流フォーラム(参加者58名)の開催
2. 札の辻案内板設置(札の辻・福地地区・榛原ふれあい広場)

### 【事業実施の様子】



## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・ノルディックウォーキング体験会は時々雨の降る天候のため、キャンセルが多く参加者は12名(内スタッフ6名)
- ・伊勢街道交流フォーラムは58名の参加に留まりましたが、映像を使ったわかりやすい講演内容は参加者ののに好評でした。今回も各地のイベントと重なり、開催日の設定や参加者募集の方法に課題が残りました。
- ・案内板については、地権者の方をはじめ、市の都市計画課・公園課から協力をいただき、初瀬街道沿いに3基を設置することができました。
- ・予定していた伊勢本街道沿いの草刈りは天候の影響と内牧地域まちづくり協議会との日程が合わず、協働の難しさを実感しました。今後も各地のまちづくり協議会と協働の取り組みを提案したいと考えています。

### 事業実施団体

名称	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
所在地	宇陀市大宇陀上新1925番地
設立の経緯・目的	<p>「紀伊半島交流会議」は「吉野・熊野の霊場と参詣道」の世界遺産登録を見据えて、平成16年3月末に歴史街道推進協議会の呼びかけで結成されました。</p> <p>その中で「伊勢街道分科会」は伊勢街道沿いの歴史や文化に触れ、そこに住む人々との交流を深めて、伊勢街道を軸としたネットワークの構築を目的として、宇陀市を中心に伊勢街道沿いで活動する人々に呼びかけて結成しました。</p>
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 古道を歩き、道標や常夜燈、宿場町等の歴史的資産の調査</li> <li>2. 情報発信のためのウォーキングイベントの開催</li> <li>3. 平成19年からは、風景街道「伊勢街道」連絡協議会において中心的な役割を担い、フォーラムの開催やマップの作成を行う</li> <li>4. 古道の復興や道標の再建など、街道の歴史的資産の保全活動をすすめる。</li> </ol>



# ツルマンリョウ保存事業【継続3年目】

補助金額  
300,000円

ツルマンリョウ保存事業委員会

## 補助事業の実施内容

1. ツルマンリョウ保存委員会(事業内容打合せ)
2. 遊歩道入り口石段工事
3. 看板制作(板塗り、防腐剤塗り、脚づくり、看板立て)
4. パンフレット作成(5,000部)

## 【事業実施の様子】



## 補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・保存事業実施によりツルマンリョウの成長が進み、咲かなかった花も咲き始め、赤い実が結ぶまでとなりました。
- ・県より別事業として文化財保存事業費補助金の交付を受け、鹿害ネット柵を設置し、鹿害対策が解消いたしました。
- ・天然記念物ツルマンリョウの成長と共に多くの地域住民や観光客に於いて一層の認識を深め、新しい観光名所として期待できます。

## 事業実施団体

名称	ツルマンリョウ保存事業委員会
所在地	宇陀市榛原檜牧964番地
設立の経緯・目的	天然記念物のツルマンリョウ群生地が、獣害等により特に荒れ、将来消滅する危惧を感じ、今以上に群生地を育成し、早急なる保存、整備を鑑みて設立しました。
主な活動内容	1. ツルマンリョウ保存の打合せ(事業内容・鹿対策) 2. 進入路及びツルマンリョウ周辺整備・草刈り・雑木の伐採 3. 遊歩道設置(130m)・水路U字溝(43m) 4. 入り口の石段・獣害保護ネットの設置・看板制作 5. パンフレット作成(5,000部)